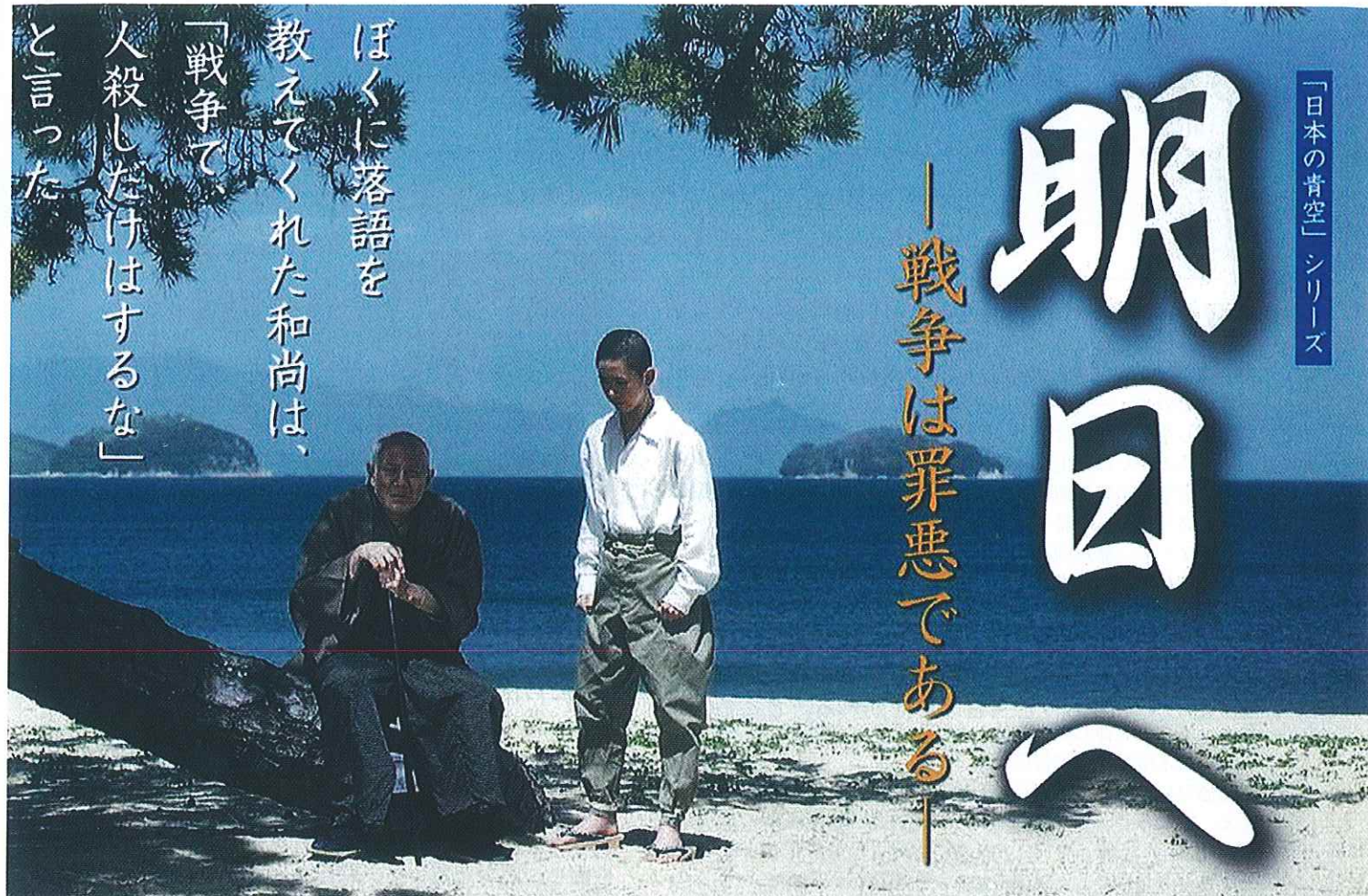


明日へ

—戦争は罪悪である—

ぼくに落語を
教えてくれた和尚は、
「戦争で、
人殺したけはするな」
と言った



2018

9/21 (金)

サンスクエア堺 B棟ホール

- ① 10:30~12:30
- ② 14:00~16:00
- ③ 18:30~20:30

9/22 (土)

耳原総合病院 2F

地域交流ゾーンみみはらホール

- ① 10:30~12:30
- ② 13:30~15:30

鑑賞協力券 (チケット価格)

一般/前売券 1200円
当日券 1500円
学生・障がい者/
前売・当日とも 800円

老いた落語家が語り継ぐ、叛骨の僧侶の言葉

監督：藤 嘉行

出演：中原 丈雄

小倉 レイ 松田 優祐
上条 恒彦 小倉 一郎
岡本 富士太 他

〔製作〕

日本の青空シリーズ

「明日へ—戦争は罪悪である—」
製作委員会



劇映画「明日へ 戦争は罪悪である」の自主上映が堺の泉北地域をはじめ大阪府下で行われています。この劇映画は、日本国憲法の誕生や現代の社会問題と憲法のかかわりなどをテーマにした「日本の青空」シリーズの第4作目です。

アジア太平洋戦争中、「戦争は罪悪である」と、となえた実在の僧侶と一人の落語家の交流を描いた作品です。

全国各地で安倍9条改憲NO!の運動の広がるなか、劇映画「明日へ 戦争は罪悪である」の自主上映を通じて、戦争の非人道的な実態を知っていただき、安倍政権による憲法9条改憲反対の運動をさらに広げて行きたいと思います。尚、上映当日、I CANのノーベル平和賞受賞メダルと受賞のレプリカの展示も行えればと考えています。

主催／劇映画「明日へ 戦争は罪悪である」上映実行委員会

お問い合わせ：社会医療法人 同仁会本部（組織部） ☎ 072-244-8061

仏の教えの第一は「不殺生」 人の命を損なう戦争は罪悪である

明日へ
戦争は罪悪である

あらすじ

2015年の秋、安保法案に反対する国会前のデモの様子がテレビのニュース番組で放映されている。金山亭我楽こと藤尾純次（岡本富士太）は、長年、高座で反戦平和を訴え続けてきた落語家。98歳になった今、老人ホームでそのニュースを見ていると居ても立ってもいられず、寄席の席亭に電話し車椅子で反対デモに参加しようとするが、若い介護士の由希奈（松本ふみか）に外出を止められる。戦争を知らない世代の由希奈に、純次は嘶家への道を開いてくれ師匠とも仰いだ一人の僧侶・杉原良善（中原丈雄）のことを語り始める……。

1932（昭和7）年、瀬戸内海に浮かぶ小島に暮らす13歳の純次は父太蔵に連れられ、杉原が住職を務める明法寺を訪れる。父は落語に熱中する純次に勉強に集中するよう良善に諭してもらおうとするが、良善は「好きなものに打ち込めるのは幸せなこと」と、逆に落語をやることの背中を押してくれた。寺の広間で村人を前に落語を披露する純次に旅の僧が、「へたくそ！」と櫓を飛ばした。その僧こそ、戦後クレージーキャッツの一員として人気を博した植木等の父で、戦争に反対して特高警察に追われていた植木徹誠（上條恒彦）だった。

やがて落語家になった純次（小倉レイ）も20歳となり、戦地へ出征の日を迎える。ところが、島での出陣式で、良善は「戦争は罪悪で人類に対する敵、すぐにでも止めたほうがええ」と村人を前に語り始め、国のために命を捧げる覚悟だった純次や村人たちを驚かせるのだった……。



かいせつ

私たち「日本の青空」シリーズ製作委員会ではこれまで、憲法9条と憲法誕生の秘話を描いた『日本の青空』（'07年・大澤豊監督）、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上を規定した憲法25条を具体化、無医村にあって命を守る医療制度を打ち立てた秋田県沢内村の取り組みを描いた『いのちの山河〜日本の青空II』（'09年・大澤豊監督）、さらに、新潟県巻町での原子力発電所建設計画を住民投票で阻止した実話をもとにした『渡されたバトン さよなら原発』（'12年・池田博穂監督・ジェームス三木脚本）など、現代の社会的テーマを劇映画として製作してきました。

今作では、かつて国を挙げ、国民を挙げて戦争に突き進んでいった第二次世界大戦中に、地元の檀家から誹謗され、宗門からも懲戒され、特高警察に逮捕されながらも、「仏教の教えの第一は不殺生、人の命を損なう戦争は罪悪である」との主張を曲げなかった岐阜県垂井町の竹中彰元師（当時70歳）をモデルにしつつ、「戦争反対」の思いを込めて新たな物語として創作しました。監督は、橋爪功主演『天才刑事・野呂盆六』（ABC）シリーズなど、テレビドラマで活躍中の藤嘉行。主演はNHK朝の連続テレビ小説『花子とアン』や大河ドラマ『真田丸』などの中原丈雄。上條恒彦、岡本富士太、小倉一郎らベテランが若い出演者らの脇をかためています。

戦争への悪縁を潰しましょう

花園大学総長 河野太通

1930年、大分県生まれ。龍門寺（兵庫県姫路市）住職。臨済宗妙心寺派前管長。全日本仏教会元会長。

劇映画『明日へ 戦争は罪悪である』の台本を読んで泣いてしまった。あの時代に、このような良心の人、慈悲の人、まことの仏教者の居たことに。戦前・戦中を軍国少年で過ごした私は、救われる思いをするのである。

今、かの戦争にころがっていた日本の社会状況と同じだという危機感を持たざるを得ない。是非、この映画をご覧ください。悲慘な過ちをくりかえすことになる悪縁を潰しましょう。

「みんなで作って、みんなで観よう」—— 国民・市民の手で作る映画製作

本映画の製作費は、これまでのシリーズ同様、「みんなで作って、みんなで観よう」と呼びかけて、製作協力券100枚（一口10万円）の全国の個人、団体、有志のグループへの普及・販売によって賄い、全国の自主上映会場で上映します。

私たちも
この映画を
応援して
います

今村幸次郎（弁護士・自由法曹団幹事長）

井上賢二（大阪社会保険推進協議会会長）

河野太通（花園大学総長、全日本仏教会元会長）

石井淳平（岡山県九条の会）

宇都宮健児（弁護士・元日本弁護士連合会会長）

豊田依子（新日本婦人の会 岡山県本部会長）

石川勇吉（愛知県宗教者九条の会）

梅田章二（弁護士・大阪憲法会議副幹事長）

主催／劇映画「明日へ ―戦争は罪悪である―」上映実行委員会

お問い合わせ：社会医療法人 同仁会本部（組織部） ☎ 072-244-8061

鑑賞協力券

一般/ 前売券 1200円
当日券 1500円
学生・障がい者/ 800円
(前売・当日とも)

上映会場 開始時間

9/21(金)

サンスクエア堺
B棟ホール

住所/堺市堺区田出井町2-1

開始 時間	1回目	2回目	3回目
	10:30~	14:00~	18:30~

9/22(土)

耳原総合病院2F
みみはらホール

住所/堺市堺区協和町4-465

開始 時間	1回目	2回目
	10:30~	13:30~